

(1) 温室効果ガス(特にエネルギー起源 CO2) 総排出量の把握
 現在本市で把握しているエネルギー起源 CO2 排出量は以下のとおりである。

- 年度別エネルギー起源 CO2 排出状況
 - ・平成 25(2013)年度エネルギー起源 CO2 排出量:7,207t-CO2
 - ・平成 28(2016)年度エネルギー起源 CO2 排出量:7,182t-CO2

○エネルギー起源 CO2 排出の内訳

項目	年間エネルギー使用量		CO2排出量 (t-CO2)	
	平成25年度 (2013年度)	平成28年度 (2016年度)	平成25年度 (2013年度)	平成28年度 (2016年度)
電気	12,622,025 kWh	12,851,765 kWh	6,488	6,542
ガソリン	63,309 L	57,288 L	147	133
灯油	40,187 L	22,773 L	100	57
軽油	47,007 L	46,512 L	121	120
A重油	104,700 L	102,200 L	284	277
L P G	11,285 m ³	8,909 m ³	67	53
合計	—	—	7,207	7,182

- CO2 排出量の算定に使用した係数等
 - ・CO2 排出係数

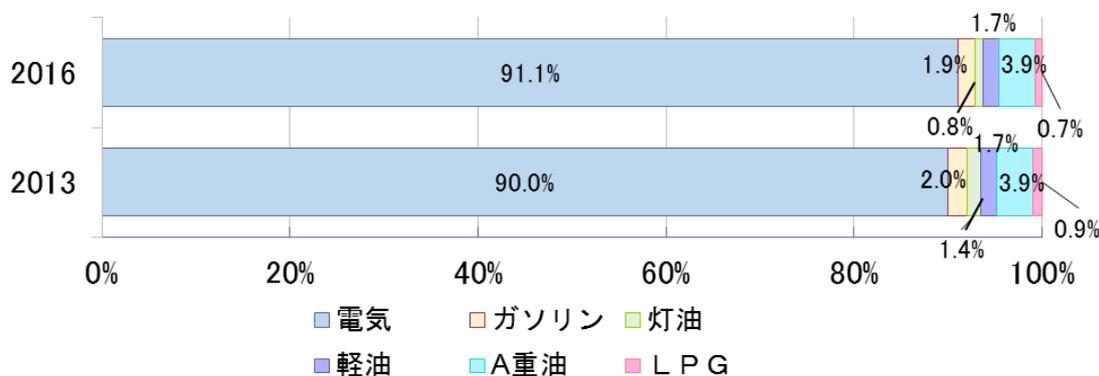
年度	CO2排出係数					
	電気 kg-CO2/kWh	ガソリン kg-CO2/L	灯油 kg-CO2/L	軽油 kg-CO2/L	A重油 kg-CO2/L	LPG kg-CO2/m ³
平成25年度 (2013年度)	0.514	2.32	2.49	2.58	2.71	3.00
平成28年度 (2016年度)	0.509	2.32	2.49	2.58	2.71	3.00

※電気のCO2排出係数は環境省公表による関西電力㈱の実排出係数を使用しています。

・液化石油ガス(LPG)の密度 : 1.99 kg/m³

2. 温室効果ガス(特にエネルギー起源 CO2) 総排出量の分析

2013(平成 25)年度におけるエネルギー起源 CO2 の排出状況は、電気が全体の 90.0%と最も多く、続いて A 重油(3.9%)、ガソリン(2.0%)、軽油(1.7%)、灯油(1.4%)、LPG(0.9%)となっている。



なお、施設類型別では多数の浄水場・ポンプ施設群を持つ上下水道施設、市内各所に配置されている学校・図書館などの教育施設が上位を占めている。単体施設ごとに見ると、体育施設、温泉活用施設からの CO2 の排出が高い。

